

坂井北部地区 耕作放棄地再生活動（さつま芋の苗植え作業）

令和8年5月22日（金）午前9時30分～11時に福井県あわら市二面地内で行われた坂井北部土地改良区主催の耕作放棄地再生活動に19名（うち当会員は10名）が参加しました。

坂井北部丘陵地は、国営総合農地開発事業により農地造成460ha、区画整理843ha、揚水機場2ヶ所、導水路14.6kmが造成され、昭和61年に完了した。

その後、社会・農業情勢の変化から耕作放棄地が目立つようになり坂井北部土地改良区は、平成21年から高齢化等により耕作放棄された農地の再生を目的として関係機関に再生活動を呼びかけ、農地を活用して将来を担う子供達（保育園児）とともに、さつま芋の収穫体験を通じた情操教育活動を行っております。NPO美しい田園21北陸支部は、平成22年から本活動に参加しています。

当日は、作業開始寸前まで雨模様でしたが、作業開始時には小ぶりとなり絶好の作付け日和となりました。昨年秋、作付け地付近に「熊」が出没したことから、園児の安全を踏まえ今年は園児の参加を断念しましたが、秋には保育園児と一緒に沢山のさつま芋が収穫できるよう、NPO会員、土地改良区職員、福井県坂井農林事務所及び福井県土地改良区連合職員の総勢19名が力を合わせて、雑物除去、畝の整形、マルチシート張り、穴開け、さつま芋の苗植えまでの一連の作業に汗を流しました。

いつもは、園児達が植え付けた苗に「早く大きくなって美味しいお芋を沢山つけてください。」とお祈りしていましたが、感性のない大人達（ほぼジジイばかりですが）は、雨に追われるようにそそくさと解散しましたが、会員の皆様は、きっと「天候に左右されることなく、大きく育て、美味しいお芋をつける。」よう心よりお祈りしているのではないかと思います。

10月上旬には、収穫作業の様をお知らせできるのではないかと思います。秋の収穫が楽しみです。





風にめくられないようピン止めは重要



先っちょは垂直に挿入し、後は横方向に奥まで挿入



雑物除去→畝整形 → シート張り → 穴開け → 芋苗の植付け作業まで、
よくがんばりました！！

